

平成30年度から 統一試験日の 教養試験が 大きく変わります!

公益財団法人
日本人事試験研究センター

これからの地方自治を支える
多様な人材を確保したい

知識よりも論理的思考力を重視したい

事務職、技術職、資格免許職など
それぞれの職種に合った試験にしたい

民間企業志望者も受験しやすい試験にして
応募者を増やしたい

こうしたニーズにお応えするため、
教養試験（統一試験）をリニューアルします。

▼平成29年度まで

教養1 (大学卒)
教養2 (大学・短大・高専卒)
教養3 (高校卒)
教養4 (高校卒)

リニューアル

▼平成30年度から

Standard 〈標準タイプ〉	I	☆☆☆☆
	II	☆☆
Logical 〈知能重視タイプ〉	I	☆☆☆
	II	☆☆
Light 〈基礎力タイプ〉		☆

(注) ☆は、各問題集の難度を相対的に示したもので、
☆の数が多いほど難しくなっています。

平成30年度
新教養試験 提供日

統一第1回 7月22日 (日)
統一第2回 9月16日 (日)
統一第3回 10月14日 (日)

* 上記以外の日は従来の教養1~4の提供です。

新教養試験

Standard - I・II

〈標準タイプ〉

出題数 : 40題

形式 : 五肢択一式

解答時間 : 120分

従来の教養試験と共通性の高い試験

(知識分野20題・知能分野20題)

知識分野 (時事、社会・人文、自然に関する一般知識を問う問題を出題)

知能分野 (文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力を問う問題を出題)

- これまでと比べて時事を重視し、社会的に幅広い分野の題材 (ICT、環境問題、社会保障など) を出題します。
- 「古文」、「哲学、文学、芸術等」、「国語 (漢字の読み、ことわざ等)」の出題はありません。

難度は I と II の2段階

- Standard - I の難度は従来の教養1と同程度です。大学で学習するような内容を含むことから、大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験でのご利用をお勧めします。
- Standard - II の難度は従来の教養2・3と同程度です。高校卒業程度の受験者を対象とした試験から、大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験まで、幅広くご利用いただけます。

新教養試験

Logical - I・II

〈知能重視タイプ〉

出題数 : 40題

形式 : 五肢択一式

解答時間 : 120分

知識より論理的思考力等の知能を重視する試験

(知能分野27題・知識分野13題)

知能分野 (文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力を問う問題を出題)

知識分野 (時事、社会・人文に関する一般知識を問う問題を出題)

- 知能分野ではStandardよりも文章理解、判断・数的推理、資料解釈の出題をそれぞれ増やす一方、知識分野では「自然に関する一般知識」の出題がありません。
- これまでと比べて時事を重視し、社会的に幅広い分野の題材 (ICT、環境問題、社会保障など) を出題します。
- 「古文」、「哲学、文学、芸術等」、「国語 (漢字の読み、ことわざ等)」の出題はありません。

難度は I と II の2段階

- Logical - I の難度は従来の教養1よりもやや易しくなります。大学で学習するような内容を含むことから、大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験でのご利用をお勧めします。
- Logical - II の難度は従来の教養2・3と同程度です。高校卒業程度の受験者を対象とした試験から、大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験まで、幅広くご利用いただけます。

公務員試験に向けた準備をしていない民間企業志望者でも受験しやすい試験

- 解答時間は75分、形式は四肢択一式とコンパクトな試験です。
- 出題分野は、「社会への関心と理解」(24題)、「言語的な能力」(18題)、「論理的な思考力」(18題)の3分野(計60題)です。社会についての関心や基礎的・常識的な知識、職務遂行に必要な基礎的な言語能力・論理的思考力を測定する試験です。
- 「社会への関心と理解」の分野で出題される問題には、地方公務員として必要な地方自治に関する基礎的な知識を問う問題も含まれます。
- 難度は、Standard - IIやLogical - IIよりもさらに易くなっています。
- 主に新規学卒者を対象とした試験です。民間企業志望者でも受験しやすい試験であり、また、職種を問わず幅広くご利用いただけます。
- Lightは、基礎的な能力を検証するための試験ですので、専門試験や適性検査などと組み合わせてのご利用がお勧めです。

* Lightの詳細については、別のリーフレットをご用意しています。(平成29年11月以降配付)

ご利用の目安

* お勧めの利用例であり、他の選択も可能です。

事務職の採用(大卒程度)に当たり、難度、分野構成がこれまでと同様の試験を実施したい。

Standard - I

高校3年生を対象に、学校で身に付けた学力を検証したい。

Standard - II

事務職の採用(大卒程度)に当たり、教養試験と専門試験を併用する。教養試験では知識よりも論理的思考力を重点的に検証したい。

Logical - I

技術系職種の採用(大卒程度)に当たり、教養試験の準備負担を軽減したい。

Logical - I

Logical - II

Light

資格免許職の採用に当たり、教養試験の準備負担を軽減したい。

Logical - II

Light

民間企業志望者にも受験してもらいたいので、特別な準備を必要としない試験を実施したい。

Light

人物重視に当たり、受験者の基礎的な知的能力は確認しておきたい。

Light

採点結果の表示

今回のリニューアルに合わせて、採点結果の表示も次のように変更いたします。

- Standard、Logicalについては、例1の青丸で示したように、知能分野と知識分野それぞれの素点を、合計の素点に加えて表示します。また、Lightについては、合計の素点に加え、例2のように3分野それぞれの素点を表示します。

(例1) Logicalの場合				(例2) Lightの場合				
得点	素点	分野別内訳		得点	素点	分野別内訳		
		知能分野	知識分野			社会への関心と理解の分野	言語的な能力の分野	論理的な思考力の分野
77	32	22/27	10/13	70	47	18/24	14/18	15/18

- 採点は、全職種を「事務職」と「その他の職」の二つに分けて、それぞれの平均点及び標準偏差を用いて得点を算出します（従来の得点算出に当たっては、全職種の平均点及び標準偏差を用いていました）。
- 同一県内の受験者の平均点を参考情報として表示します。

試験の提供日、申込み手続き、料金

- 新教養試験の提供日は統一試験日（7月、9月、10月の年3回）です。なお、統一試験日以外の日については、これまでと同様の教養試験 1、2、3、4の提供となります。
- 利用申込みは、これまでと同様、統一試験日の1か月前までに試験実施計画書を（WEB登録又はFAX送信）してください。申込み手続き等の詳細については、平成30年度の「試験問題ご利用案内」（平成30年2月頃配付予定）をご覧ください。
- 新教養試験問題集の部数料金は、Standard、Logical、Light 全て1部 800円（税抜）です。
*統一試験日における割引料金です。

● お問い合わせ先
公益財団法人 日本人事試験研究センター 事業部
TEL 03-5363-9161 <http://www.njskc.or.jp>